

第18期 株式会社アップクオリティ 実績紹介資料



Up Quality | 会社概要



“国産農畜水産物の消費拡大”をミッションに、18年間で累計1500社の農畜水産物流の関係者との取引実績を保有する食のマーケティングおよび物流/販売会社

会社概要

設立	2003年8月
資本金	57百万円(資本準備金を含む)
代表取締役	泉川 大
事業内容	マーケティング企画・運営 / 店頭プロモーション企画・運営 / 飲食・物販業
主要株主	泉川 大(株式比率66.67%) / 株式会社OORONG-SHA(株式比率21.51%) フードディスカバリー株式会社(株式比率10.75%)
事業所	東京都新宿区新宿4-1-23 新宿SKYビル9階 大阪市北区豊崎3丁目9番7号いずみビル404
主要取引先 (*一部抜粋)	<u>JAグループ</u> 北海道、東北(青森/岩手/宮城/秋田/山形/福島) / 関東甲信越(茨城/栃木/長野/山梨/静岡/愛知/岐阜) / その他(岐阜/島根/高知/広島/福岡/長崎/鹿児島/沖縄) <u>自治体</u> 秋田県/山梨県/栃木県/埼玉県/京都府/兵庫県/徳島県/香川県/愛媛県/長崎県/大分県/沖縄県

事業内容

営業販売

地域食材のマーケティングおよび販売
ブランドデザイン・販路開拓・商品開発・店頭プロモーション



物流販路

高速バスを活用した貨客混載あいのり便
55地域67路線の高速バスの荷物エリアに食材を積載して都心に運ぶ



自社店舗

UPQが運営する自社の3店舗を都内に展開
地域食材のメニューだけでなく地域の特徴を伝えるイベントを開催



農業マーケティング事業の実績

18年間で農畜産物流通の関係者
累計1500社との取引実績

活動のミッション



店頭プロモーション



地方自治体
JA

(店頭宣伝販売)



店頭でのマネキンによる、
宣伝販売活動をこれまで
20万件以上受託してい
ます。全国の小売店で行
っています。また、実施
の際に個別に作成するレ
ポートを通じて、消費者
や小売店が求めるもの、
消費動向などを産地にフ
ィードバックさせていた
だきます。これらの、
「現場力」が当社の最大
の強みです。



報告書

[illegible]

報告書

[illegible]

Works

JAグループ 農産物のマーケティング支援

JA全農ながさき



全農 長崎県本部
&
長崎県いちご部会

(ビバ！長崎県産ゆめのか)

新品種ゆめのかへの品種変更にともない、販売戦略の立案～、ブランドデザイン、販路開拓、商品開発、店頭プロモーションなど、マーケティング部門を受託している。令和元年には出荷高100億の売上を達成。継続的にマーケットインの発想による、産地振興が進んでおり出荷高は毎年上昇している。



Works 地方自治体 農産物のマーケティング支援



大分県農林水産部
おおいたブランド推進課
(県産農林水産物販売拡大業務)

新型コロナ感染拡大により飲食店や納品業社が営業打撃を受けている中、国産の高級食材の生産者は、出荷量が大幅に減少している。本事業では新しい生活様式に対応した施策を通じて、大分県農産物の認知向上とファンづくりを推進、流通拡大を行なった。連携した企業や店舗（イオン、大丸有レストラン各店、西武池袋店の魚喜、交通会館、バスあいのり3丁目テラス）

■高級・有名レストランタイアップ企画



肉のTheおおいたフェア 1か月間メニュー展開（14店舗）



魚のTheおおいたフェア 1か月間メニュー展開（16店舗）

■オフィス街人気飲食店タイアップ企画（テイクアウトメニュー）



Theおおいたフェア 1か月間メニュー展開（17店舗）

■有楽町 交通会館マルシェへ出店・PR販売



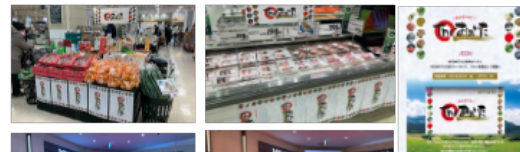
青果物・加工品を販売するマルシェと大分の食材を使ったメニューを販売するキッチンカーの2本立てで2日間開催。

■百貨店での大分フェア開催



青果売り場＋水産売場にて展開
推奨販売スタッフも導入しPR販売

■量販店イオンでのフェア開催



複数の売り場にて大分フェアを開催。
店内のサイネージに映像も放映。
本施策について特設サイトを作成して告知。

■量販店イオンのネットスーパーで販売



新しい販売形式であるネットスーパーでも大分フェアを展開し、大分県産デコボンの予約販売を実施。

実施レポートだけでなく、シェフやバイヤーなど有力な実需者の意見を収集し報告

Works

農産物のプロモーション



JA全農山形
全農 山形県本部

(山形県産ラ・フランス)

ラ・フランスのブランド化、
販路開拓、商品開発、プロ
モーション。

商品特性上、食べごろが消
費者に伝わりにくい傾向に
あるため、市場や仲卸や量
販店と連携して、食べごろ
シールの展開を行ったり、
小売だと売りにく大玉をジ
ューススタンドなどの業務
販売へ展開するなどの活動
を行っています。



Works

農産物のプロモーション



全農 山梨県本部
山梨県農政部

(山梨県産フルーツ各種)



山梨県産フルーツ全般のブランド、販路開拓、商品開発、プロモーションを受託しております。夏場の産地であるため、小売店舗では、出荷シーズンのおよそ4ヶ月間に渡り、ブランドを掲げた売り場を演出しています。また、直営の直売所の集客や客単価の向上に向けた企画を担当しています。



Works

農産物のプロモーション



JAおきなわ
沖縄県農林水産部

(沖縄県産の出口戦略事業)

沖縄県産の県内外での販売拡大を目的とし、沖縄県産ロゴのデザインによるブランド化、販路の開拓、プロモーションを受託しています。マンゴーやパイン、シークワーサーなどの夏場の果実から、トマトやニンジン、とうがんなどの冬場が旬の野菜まで、年間を通して品目の販売戦略を企画し、マーケティング活動を行っています。



Works 農産物のプロモーション

しいたけ 2016年10月



囲いねぎ 2017年1月



JA全農あきた+秋田県

アスパラガス 2017年5月



(秋田県産農産物
店頭プロモーション)

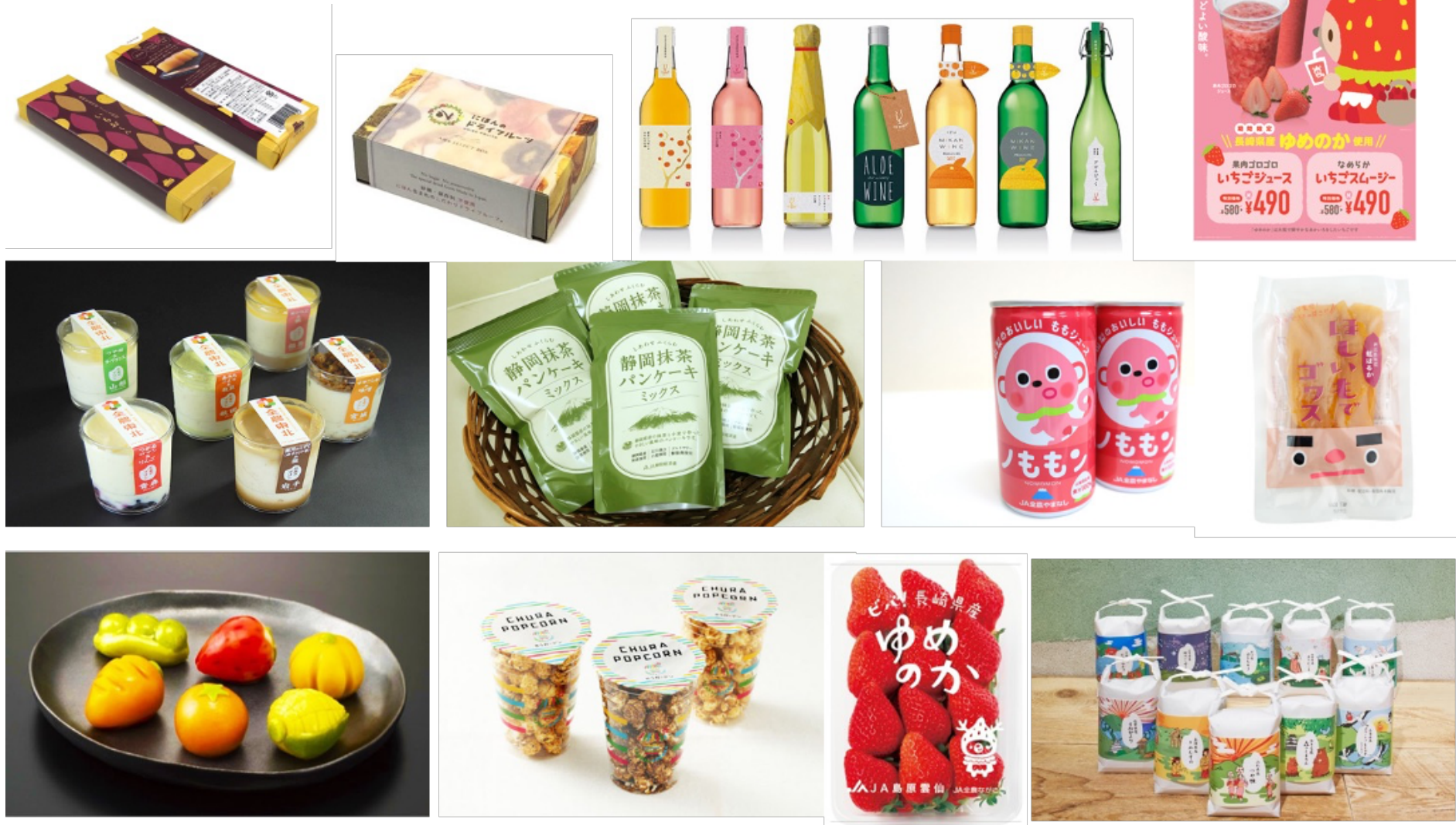
年間を通して様々な品目を出荷されている中で、強化店での実施の際や生産者が消費地へ視察に来られる際などに、通常の試食販売よりも企画性を高め、売り場を盛り上げるための施策。
秋田県らしいビジュアルを用意し、また継続展開することで秋田県産を強くアピールし、産地としての認知度や親近感を高めていく狙で展開。

夏秋野菜 2017年7月



Works

農産加工品の開発や販売支援



Works

アンテナショップの運営



ichigo
OTEMACHI



全農

(全農アンテナショップ)

2017年5月～3年間に渡り、JA全農アンテナショップを運営。ショップデザインや施工、企画、商品開発、運営業務まで全てを担当。全国のJAと協力し、野菜や果物、お米などの農産物から、農産加工品まで、様々な商品を仕入れ販売した。



Works

農産物の輸出マーケティング

九州パンケーキ
Kyushu Pancake Cafe



九州テーブル社
(九州パンケーキ)

2011年にリリースした宮崎の地域産品、九州パンケーキの販売事業、飲食事業の実証を支援。楽天ショップでの販売では、総合ランキング1位を獲得。また、宮崎や福岡、熊本県のショップ、台湾やシンガポールでのフランチャイズ契約による、カフェ事業を展開。台湾やシンガポールの店舗では、日向夏やイチゴなどの、九州産の果実を輸出し、メニュー化、店内での消費者アンケートを取得し、農産物の輸出に向けたテストマーケティングを実施した。



Works

地域連携プロジェクトの企画・運営



全農

(東北6県プロジェクト)

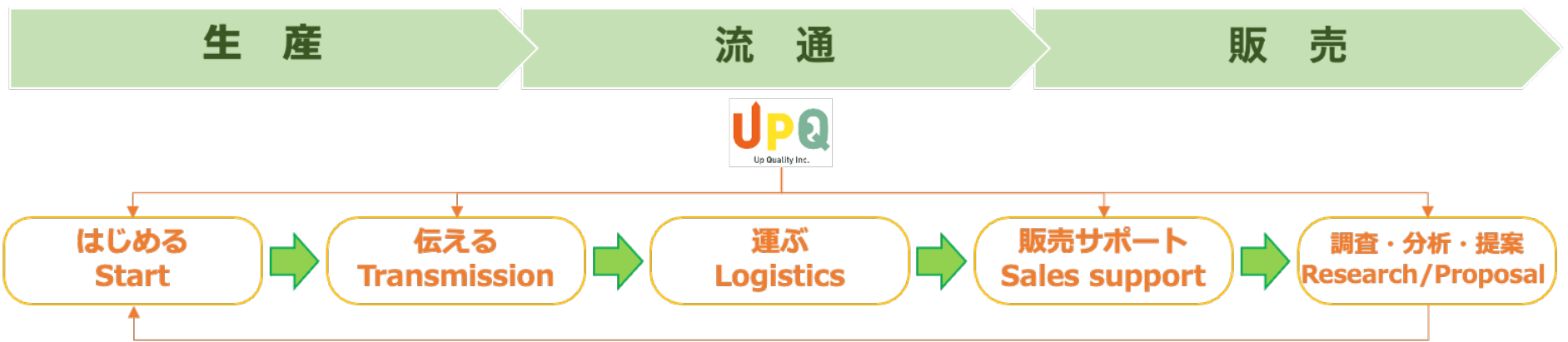
全農東北のブランド化、販路の開拓、商品開発、プロモーションなど、コンサル契約に基づき受託しています。平成28年度は、首都圏や近畿圏の有力な量販店に営業し、全農東北の売り場作りを実践しました。またスイーツの開発や、お米、りんごの食べ比べ販売など、東北ならではの販売企画を実施。圏域を超えた協力による相乗効果を作り続けています。



【営業/販売】販路/顧客リスト（小売店・自治体・協議会・JA・市場など）

都内の小売店や市場・仲卸・商社などに直接的に営業活動を行うことが可能

小売店	協議会		JA		市場・卸・商社	
株阪急阪神百貨店	伊勢茶推進協議会	広島わけぎ生産販売協議会	JA全農本所	全国農業協同組合連合会大分県本部（JA全農おおいた）	株大宮中央青果市場	カネ井青果株
株大丸松坂屋百貨店	大分県豊後牛販売促進協議会	沖縄県農林水産物販売促進協議会	全国農業協同組合連合会青森県本部（JA全農あおもり）	佐賀県農業協同組合（JAさが）	東京荏原青果株	神戸中央青果株
株 そごう・西武	岐阜県トマト消費宣伝協議会	J A長野県・信州肉牛生産販売協議会	全国農業協同組合連合会福島県本部（JA全農福島）	熊本県果実農業協同組合連合会（JA熊本果実連）	東京青果株	姫路大同青果株
株高島屋	徳島県産根消費拡大協議会	徳島県なし消費拡大協議会	全国農業協同組合連合会岩手県本部（JA全農いわて）	熊本県経済農業協同組合連合会（JA熊本経済連）	東京多摩青果株	大阪中央青果株
株紀ノ國屋	徳島県農産物消費拡大協議会	大分県振興振興協議会	全国農業協同組合連合会秋田県本部（JA全農あきた）	宮崎県経済農業協同組合連合会（JA宮崎経済連）	金港青果株	名古屋青果株
株三浦屋	八代地方トマト・メロン販売連絡協議会	高知県新需要開拓マーケティング協議会	全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）	沖縄県農業協同組合（JAおきなわ）	埼玉県中央青果株	奈良中央青果株
株ライフコーポレーション	三重なばなブランド化推進協議会	JAくまもと肉牛銘柄推進協議会	全国農業協同組合連合会茨城県本部（JA全農いばらき）	島原雲仙農業協同組合（JA島原雲仙）	川崎中央青果株	石田青果株
イズミヤ株	熊本県産牛肉消費拡大推進協議会	大分県いちご販売強化対策協議会	全国農業協同組合連合会栃木県本部（JA全農とちぎ）	JA茨城旭村農業協同組合	横浜丸中青果株	愛知県中央青果株
イオン株	熊本県青果物消費拡大協議会	JA福岡県経済連「健康長寿ふくの野菜」販売協議会	全国農業協同組合連合会長野県本部（JA全農長野）	十和田おいらせ農業協同組合（JA十和田おいらせ）	東京シティ青果株	岐阜岐阜青果株
イオンリテール株南関東カンパニー	熊本県産物生産・販売連携強化推進協議会	西都市園芸振興協議会	全国農業協同組合連合会富山県本部（JA全農とやま）	八代地域農業協同組合（JAやつしろ）	JA全農青果センター株神奈川センタ	みくりや青果株
株万代	“さが”農産物ブランド確立対策推進協議会	おおいた冠地どり銘柄協議会	全国農業協同組合連合会石川県本部（JA全農いしかわ）	玉名農業協同組合（JAたまな）	神奈川青果株	株大喜青果
株セントラルフルーツ	宮城県園芸作物ブランド化推進協議会	徳島県青龍柑樹加工流通対策協議会	全国農業協同組合連合会新潟県本部（JA全農にいがた）	玉名市大浜町農業協同組合（JA大浜）	東京千住青果株	長野大同青果株
株ころくや	JA愛媛県産生産者組織協議会	かあちゃん野菜推進協議会	全国農業協同組合連合会千葉県本部（JA全農ちば）	豊橋農業協同組合（JA豊橋）	新潟中央青果株	大阪南部合同青果株式会社
株九州屋	玉名市野菜振興協議会	大分アスパラガス出荷協議会	全国農業協同組合連合会群馬県本部（JA全農ぐんま）	中野市農業協同組合（JA中野市）	船橋中央青果株	京都南部青果株（京印）
株定松	徳島県たけのこ消費拡大協議会	まつやま農林水産物ブランド化推進協議会	全国農業協同組合埼玉県本部（JA全農さいたま）	とびあ浜松農業協同組合（JAとびあ浜松）	カネイチ青果株	WISMETAC7-X株
株フレッシュワン	徳島県にんじん振興協議会	徳島県いちご協議会	愛知県経済農業協同組合連合会（JAあいち経済連）	つがる弘前農業協同組合（JAつがる弘前）	浦和中央青果市場株	EMG イム商事株
株サン・フレッシュ	能登やさい出荷協議会	岐阜ほうれんそう消費宣伝協議会	静岡県経済農業協同組合連合会（JA静岡経済連）	つがるにしまた農業協同組合（JAつがるにしまた）	株共栄青果	株7ア-マインド
株フルーツワールド	岐阜県消費宣伝協議会	新潟県JAさのこ協議会事務局	全国農業協同組合連合会三重県本部（JA全農みえ）	松茂農業協同組合（JA松茂）	JA全農青果センター株東京センター	JWM7アジヤン株
株サン・ベジフル	大分夏秋ピーマン連絡協議会	あづみ農協農政協議会	全国農業協同組合連合会岐阜県本部（JA全農岐阜）		千葉青果株	船昌商事株
株ハヤシフルーツ	徳島県すだち・ゆづこ消費推進協議会	やまぐちの農林水産物需要拡大協議会	全国農業協同組合連合会兵庫県本部（JA全農兵庫）		東京豊島青果株	株米澤商店
株青木商店	大分県カボチャ振興協議会	山口県なし連絡協議会	奈良県農業協同組合（JAならけん）		株熊谷青果市場	山文青果株
株 新宿高野	徳島県甘藷消費拡大協議会	庄内まぐと豚豚推進協議会	和歌山県農業協同組合連合会（JA和歌山県農）		丸果石川中央青果株	株東海商店
株 タカノフルーツパーラー	三重県果実生産出荷安定協議会	山梨県果畜産物販売強化対策協議会	全国農業協同組合連合会京都府本部（JA全農京都）		丸果秋田青果株	生興産業株
株メルヘン	四国中央地域営農団地推進協議会	千葉県大和田牛生産出荷連絡協議会	広島県果実農業協同組合連合会（JA広島果実連）		株福岡中央青果	株ニダ
	熊本市畜産物生産出荷協議会	庄内促成山菜生産者協議会	全国農業協同組合連合会岡山県本部（JA全農おかやま）		長野県連合青果株	日本流通産業株
	山城地域農業振興協議会	かわわ農産物流通消費推進協議会	全国農業協同組合連合会鳥取県本部（JA全農とっとり）		山梨中央青果株	株ビオマーケット
	茨城をたべよう運動推進協議会	宮崎県米消費拡大推進協議会	島根県農業協同組合（JAしまね）		長印市川青果株	
	大分べっぴんねぎ出荷協議会	庄内特振振興協議会	香川県農業協同組合（JA香川県）		京都青果合同株	
	愛知県農産物需要拡大協議会	静岡県いちご協議会	高知県農業協同組合（JA高知県）		大阪北部中央青果株	
	あきた園芸戦略対策協議会	静岡県京浜地区果実流通協議会	全国農業協同組合連合会愛媛県本部（JA全農えひめ）		京都流通青果株	
	中野市農業振興対策協議会	宮崎県京浜地区花き研究会	全国農業協同組合連合会 徳島県本部（JA全農とくしま）		JA全農青果センター株 大阪センタ	
	浜松洋菜消費宣伝協議会	山形県JA園芸振興協議会	全国農業協同組合連合会福岡県本部（JA全農ふくけん）		大果大阪青果株	
	木頭ゆず振興協議会		全国農業協同組合連合会長崎県本部（JA全農ながさき）		神果神戸青果株	



1. 産地振興を目的とした農業ブランドのコンサルティング

国産農産物の消費拡大による産地振興を目的として、農産物のブランドづくり、効果的なブランディング活動をサポートします。

【キーワード】

- ・ブランド立ち上げ・発信 ・商品開発
- ・研究会／ワーキンググループ
- ・店舗開発・運営 ・キャンペーン企画
- ・各種デザイン・販促ツールの制作
- ・WEB制作／運営、 ・SNS運営
- ・レシピ開発・食育イベント企画、運営
- ・キャンペーン企画／事務局運営 など

2. 旅客用高速バスを活用した新たなバリューチェーン構築

従来の物流では域外に出荷することができなかった希少な農産物や小ロットの産品、朝どれ・有どれ野菜を都市に届け、新しい商機をつくります。

【キーワード】

- ・産地直送あいのり便
(高速バスによる貨客混載運搬)
- ・あいのりマルシェ
- ・原料の販売（卸）・加工品の販売（卸）
- ・消費地とのネットワークづくり など
- ・消費地でのテストマーケティング
(消費者への販売 or 飲食店での利用など)

3. 販売拡大、認知度向上を目的としたマーケティング活動

店頭を中心とした消費宣伝活動で取得した来店者属性など当社独自のデータに基づき、マーケティング活動の効果的なサポートを行います。

【キーワード】

- ・ブランドを打ち出した販売
- ・デモンストレーション
- ・スタッフ研修・販売マニュアル作成
- ・ブランドキーパー ・市場調査
- ・ブランドの効果測定
(店舗巡回、消費者調査など)
- ・実需者へのヒアリング など

高速乗合バスを活用した 貨客混載「バスあいのり」事業の実績

3年間で55地域67路線を構築・検討中

貨客混載「バスあいのり」事業とは



since 2018.8

人を運ぶ高速バスの荷台を活用した“貨客混載物流”によって、従来の物流では県外に出せなかった様々な希少な産品を、鮮度が保ったまま、安い送料で、産地と生産者のストーリーと共に都内に運び、販売する。

販売（都内）

お店や売り場までの
ラストワンマイルは
アップクオリティが配送

20

概要

● 実施主体：5者連携協定 大丸有フードイノベーション

- ①JA全中 ②農林中金
- ③三菱地所 ④エコツエリア協会
- ⑤アップクオリティ の5社

● 実証開始：2018年8月～

● 登録商標：



商願第2019-092012号



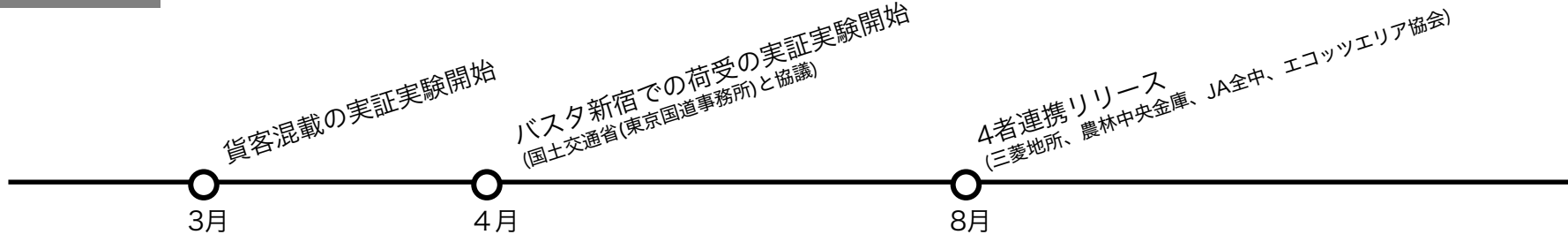
商標第6126124号



商標第6161824号

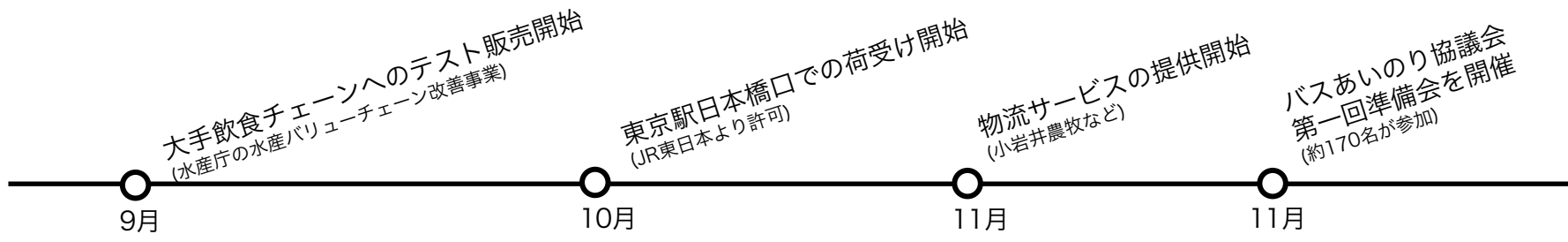
沿革

2018 「貨客混載事業」の実証実験開始



高速バス貨客混載のパイオニアを目指し、バス会社や地域のJAなどに声を掛け「バスあいのり便」の路線を開拓。直売所や道の駅に出荷される野菜や果物など、地域農産物のバリューチェーンの開発を進めた。大型ビルで行うバス「あいのりマルシェ」の開催(500回)、数店舗の飲食店への食材の提供を開始した。

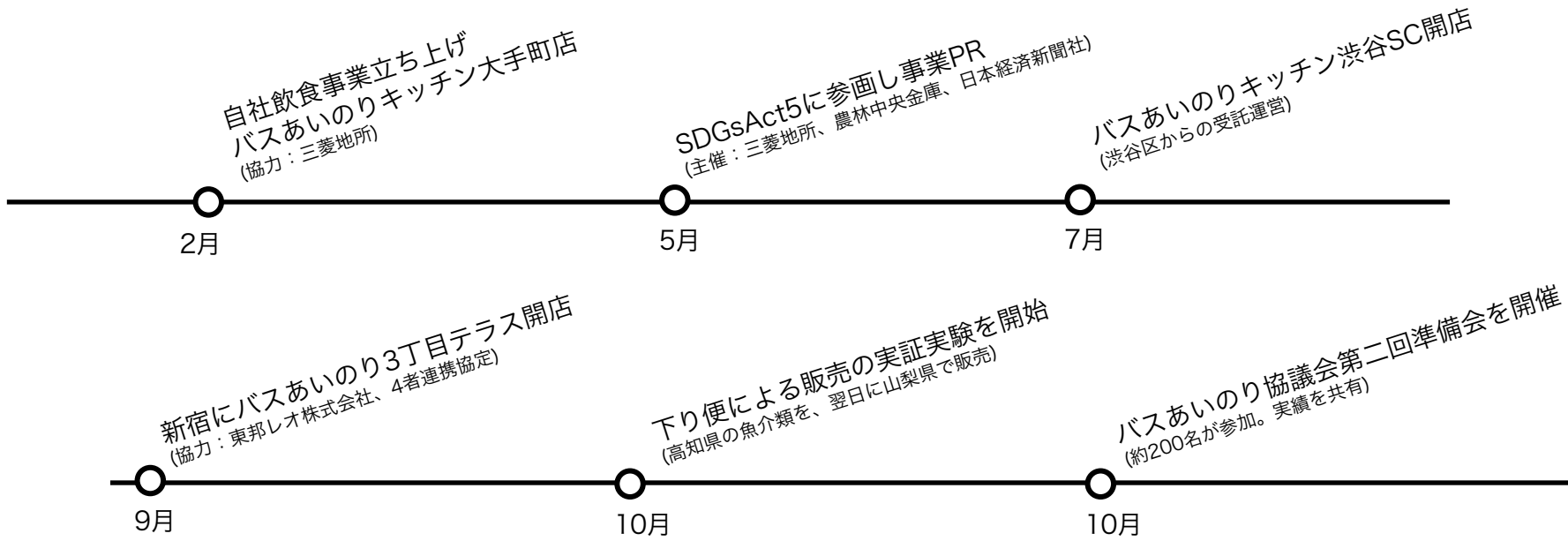
2019 販路開拓、物流サービスの実証実験開始



主要ターゲットである大丸有エリアの飲食店20店舗への食材供給を開始。運用を円滑化するため、出荷者・バス会社・シェフなど実需者が利用できる運用システムの開発に着手。
あいのりボックス1箱単位での物流サービスを開始。継続的に地元食材や菓子類、自社製造のクラフトビールなどを運んでいる。
バスあいのり協議会第一回準備会を開催。約170名が参加し、更なるバスあいのり事業への期待感の醸成、各社との関係強化の機会となった。

沿革

2020 自社事業、下り便活用、PR強化



新型コロナウイルス感染症による取引金額減少やマルシェ開催延期などの対策として、販路拡大に取り組み、イオンへの継続的な販売・ローソン店舗でのテスト販売・クックパッドマートでの販売・地方自治体のアンテナショップとの取組みを実現。また、経済産業省の支援のもと、高速バスの上下便や産地のセントラルキッチン化の取り組みを開始した。

バスあいのり協議会第二回準備会の参加者は合計200名となり、「地域を結ぶ地方創生、観光と物産の相乗効果による地域経済の活性化」を掲げ2021年下期の協議会立ち上げを目指す。

貨客混載「あいのり便」事業とは

搬送中の環境管理に、専用IoT端末を利用することで適切な温度管理を実現

野菜用 冷蔵

(D)430mm

(W)650mm

(H)600mm

保冷ボックスサイズ

外寸 : (W)650mm (D)430mm (H)600mm
内寸 : (W)580mm (D)360mm (H)530mm
有効内寸 : (W)510mm (D)290mm (H)495mm ※保冷剤有

肉・魚用 冷蔵・冷凍

断熱材の厚みを変更し、低温にも対応。

(D)470mm

(W)670mm

(H)650mm

保冷ボックスサイズ

外寸 : (W)670mm (D)470mm (H)650mm
内寸 : (W)560mm (D)360mm (H)540mm
有効内寸 : (W)490mm (D)290mm (H)505mm ※保冷剤有



実績：主な地域産品の紹介



大分県別府市
作り立ての温泉プリン



金沢市 加賀野菜



長野県原村
今朝どれのとうもろこし



福島県いわき市 木熟トマト



秋田県秋田市
菓子パン(バナナボート)



宮崎県高岡町
今朝どれ養殖の鮎



高知県安芸市
無冷凍の釜揚げしらす



福島県いわき市 冷凍マグロの柵



岩手県岩手町 短角牛



宮崎県高岡町 パスタえのき



熊本県熊本市
焼き立てのシュークリーム



千葉県銚子市
今朝水揚げのホウボウ



栃木県益子町
精米したてのお米



岩手県遠野市
ジンギスカン肉のスライス



鳥取県鳥取市 白いか



高知県四万十市
業務用 四万十鶏



新潟県佐渡市 南蛮エビ



栃木県益子町
今朝どれいちご



宮城県塩竈市
復興のシンボル 笹かま

乗合高速バス会社リスト

稼働中 (25社)

WILLER EXPRESS	会津乗合自動車	秋田中央交通	アルピコ交通
茨城交通	西日本ジェイアールバス	岩手県北自動車	小田急シティバス
亀の井バス	ジェイアール東海バス	九州産交バス	琴平バス
桜交通	ジェイアールバス関東	九州急行バス	杉崎観光バス
富士急行バス	ジェイアールバス東北	伊予鉄バス	西日本鉄道
三重交通	宮崎交通	オー・ティー・ビー	東海バス

協 議 中 (8社)

頸城自動車	東北アクセス	名鉄バス	中国ジェイアールバス
中国バス	岐阜乗合自動車	小湊鐵道	下津井電鉄

協力路線：55地域67路線
(準備中の21路線を含む)

(2021年3月現在)

北陸

石川県 (金沢市)

甲信越

山梨県 (甲府市・都留市・北杜市)

長野県 (小諸市・上田市・松本市)

新潟県 (佐渡市・上越市)

中部

静岡県 (静岡市・三島市・沼津市)

近畿/東海

三重県 (伊勢市・鳥羽市・熊野市)

愛知県 (名古屋市)

岐阜県 (岐阜市)

中国

広島県 (尾道市)

鳥取県 (鳥取市)

岡山県 (倉敷市)

九州

宮崎県 (宮崎市)

長崎県 (長崎市)

大分県 (別府市)

熊本県 (熊本市)

四国

高知県 (高知市・安芸市)

愛媛県 (八幡浜市)

香川県 (観音寺市・三豊市・琴平市)

沖縄

沖縄県 (浦添市)

東北

青森県 (十和田市)

岩手県 (久慈市・盛岡市・雫石町
遠野市・岩手町)

秋田県 (秋田市)

宮城県 (仙台市・石巻市・塩釜市)

福島県 (会津若松市・郡山市・
南相馬市・いわき市)

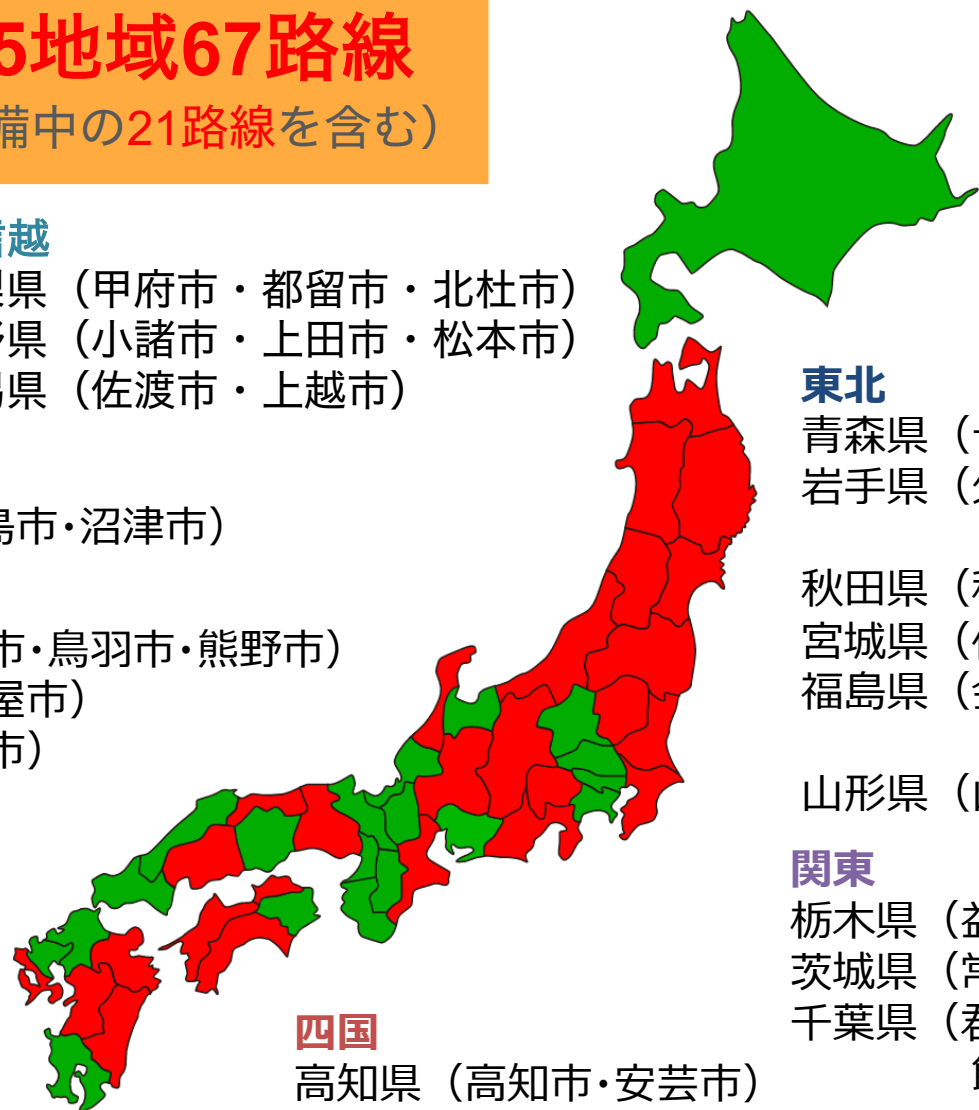
山形県 (山形市・天童市・鮭川村)

関東

栃木県 (益子町)

茨城県 (常陸太田市・茨城町)

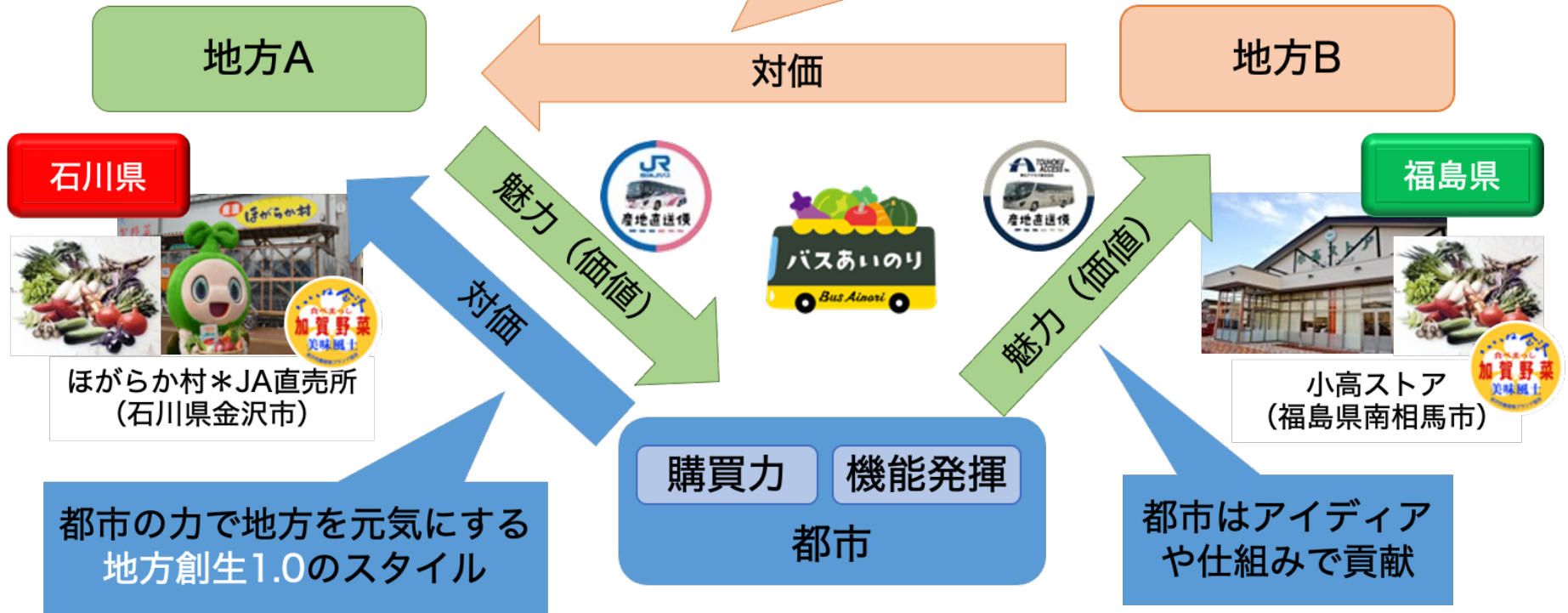
千葉県 (君津市・銚子市
館山市・木更津市)



実績：下り便による地方創生の実証

42回実施

地方の力で地方を元気にする
新しい地方創生2.0のスタイル



都市を通じて地域をつなぐ、貨客混載による新たな地域間物流モデルの実証

実績：補助事業によるバスあいのり事業の推進

国土交通省		水産庁		経済産業省	
期間	2019年8月～2020年2月	2019年12月～2020年3月	2020年7月～2021年2月		
名称	令和元年度 モーダルシフト等推進事業	令和元年度 バリューチェーン改善促進事業	令和2年度 地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業		
* 写真					
内容	貨物自動車による陸上輸送から鉄道輸送又は船舶を利用した海上輸送へ転換すること等により、CO2排出量の削減を図ることを目的として実施する事業	水産物の生産・流通・販売の各分野を一元化したバリューチェーンの構築を目的としたシステム開発及び実証を行う事業	地域経済の活性化を目的とし、地域の社会課題や付加価値について、技術やビジネスの側面から実証する取組を行う事業		
補助金額	1,807,000円	18,825,268円	14,695,818円		
成果	・本事業において7ルートの新規路線を開拓 ・CO2排出削減量 約15.3t-CO2 ※7ルート合計 ・保冷ボックスの新規調達	・専用システム【バスあいのりマーケット】の構築 ・コールドチェーン資材の新規調達 ・水産物の輸送実験	・貨客混載事業推進における課題の抽出 ・地域商社と連携した半調理品の開発 ・保冷ボックスの新規調達		

実績：食品流通合理化検討会

農水省・国交省・経産省が合同で、サプライチェーン全体で一貫した食品流通の合理化に向けた検討会を2019年から継続して開催。代表の泉川大が参加している。

- 【活動内容】行政・物流・産地・荷主で合理化プランを検討し、次年度の事業化を推進**

 - (1) パレット化等による荷役軽減
 - (2) 集出荷拠点集約等の効率化
 - (3) トラック以外へのモーダルシフト
 - (4) 小口ニーズへの対応
- 産地・消費地で規格統一、管理回収体制の構築

物流拠点の整備、共同輸配送の推進

バス便の貨客混載や、鉄道輸送の推進

ドローン実用化や、バス便の貨客混載の拡大

2 食品流通の現状

食品流通は、**トラックによる輸送が97%**を占め、特に、生鮮食品の輸送では、次のような特徴。

- ① 手積み、手降ろし等の**手荷役作業が多い**。
- ② 出荷量が直前まで決まらないこと、市場や物流センターでの荷降ろし時間が集中することにより、**待ち時間が長い**。
- ③ 品質管理が厳しいこと、ロットが直前まで決まらないことにより、**運行管理が難しい**。
- ④ **小ロット多頻度での輸送が多い**。
- ⑤ 産地が消費地から遠く、**長距離輸送が多い**。

→ 輸送費の引上げだけでなく、**取扱いを敬遠**される事例が出てきている。

【食品流通のモード別輸送形態】

出典：国土交通省「貨物地域流動調査・旅客地域流動調査（H29年度）」
「航空貨物動態調査（H30年度）」
JR貨物「2018（平成30）年度 輸送実績」
※各種統計における農水産品及び食料工業品の合計値を基に農林水産省にて推計したものであり、実数とは異なる場合がある。

【輸送品別 拘束時間の内訳】

出典：国土交通省「トラック輸送状況の実態調査（H27）」

【各地から東京までの距離とトラック輸送時間】

（点線：北海道からのトラック輸送形態（トラック→フェリー→トラック））
出典：農林水産省生産局「青果物流通をめぐる現状と取組事例」

モーダルシフトによるトラック以外の輸送手段への分散

- ・リードタイムの延長、ロットの確保
- ・高機能鮮度維持設備の整備
- ・季節変動が大きく、輸送の平準化が必要
- ・交通ネットワークの充実
- ・北海道からの輸送の維持
- ・鉄道の定温物流サービスの拡大、年末年始やGW等の輸送確保

小口ニーズへの対応

- ・小口ニーズの効率的な集荷・配送手段の確立
- ・小規模産地の良品配送

出荷を平準化するための長期貯蔵技術の開発

- ・効率的な具体方策策定に向けた鉄道貨物輸送業界等と産地との意見交換の実施

宅配便との連携

- ・ドローンの実用化の検討
- ・高速バス等による貨客混載の活用の拡大

産地 (都道府県)	三村 申吾 (青森県 知事)	金子 千久 (全国農業協同組合連合会 園芸部長)
花角 英世 (新潟県 知事)	戸田 弘二 (ホクレン農業協同組合連合会 物流部長)	
鈴木 英敏 (三重県 知事)	内野宮由康 (宮崎県経済農業協同組合連合会 園芸部長)	
門脇 光浩 (秋田県仙北市 市長)	甲斐 毅 ((公社)日本農業法人協会 専務理事)	
元木 洋介 (山形県鶴川村 村長)	岩佐 大輝 (農業生産法人株式会社 G R A ゲル・ア 代表)	
松崎 晃治 (福井県小浜市 市長)	久家 源一 ((一社)日本花き生産協会 会長)	
大城 一郎 (愛媛県八幡浜市 市長)	川田 光太 (東京青果(株) 常務取締役)	
馬渡 雅敏 ((公社)全日本トラック協会 副会長)	福永 哲也 ((一社)日本花き卸売市場協会 会長)	
宿谷 肇 ((一社)日本物流団体連合会 理事・事務局長)	奥山 剛康 ((一社)日本加工食品卸協会 専務理事)	
佐藤 修司 ((公社)日本物流・流通協会 JILS 総合研究所長)	中村 智広 ((一社)日本外食流通協会)	
牧田 信良 (株)マキタ運輸 代表取締役	井上 淳 (日本チェーンストア協会 専務理事)	
泉川 大 (株)アップクオリティ 代表取締役社長)	江口 法生 ((一社)日本スーパーマーケット協会 専務理事)	
富取 善彦 ((一社)日本倉庫協会 理事長)	永川 珠恵 ((株)三菱総合研究所 主席研究員)	
西藤 廣行 ((一社)日本冷蔵倉庫協会 副会長)	坂本 浩之 (富士通(株) エキスパート)	
早川 典雄 (株)セイノー情報サービス 取締役)	折笠 俊輔 ((公財)流通経済研究所 農業・地域振興研究開発室長)	

実績：バスあいのりマルシェ開催

- 2018.8~2019.3@76開催
- 2019.4~2020.3@473開催
- 2020.4~2021.3@117開催

合計666開催



実績：大丸有・東京駅エリアの飲食店への直販

現取引
30店

アクセス
122店

全体(約)
700店

2020年は、コロナ禍であいのり便の販売点数が減少した一方、農業マーケティングのプロモーションやFUKKOイベントを通じて飲食店とのアクセス数が合計122店舗に増加。今後、大丸有・東京駅エリアを中心にプロモーション提案と食材提案の両軸によって、各店との関係を深め、取引を拡大していく。

農業マーケティングのプロモーション提案



あいのり便の食材提案





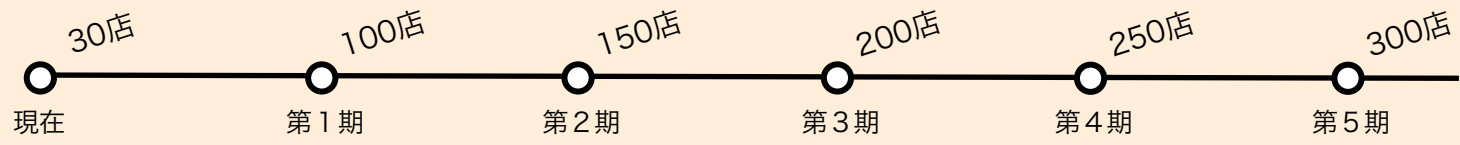
CHECK

三菱地所プロパティマネジメント
株式会社 鉄道会館

プロモーション実施などの際
店舗の紹介などご協力を依頼



取引店 開拓目標(大丸有・東京エリア)



実績：バスあいのり3丁目テラス

貨客混載で都心に運ばれる食材を活用したオープンテラスの飲食店として、2020年9月に新宿3丁目の三菱地所が取得した土地に「バスあいのり3丁目テラス」をオープン。新宿の新たなスポットとして注目を集めた。施設では飲食の提供だけでなく複数の地域と連携。地域の特産品のプロモーションやPRイベントを定期的に行っている。これからも地域と都市が交わる、地域PRの場所として活用していく。



大分県：大分食材研究会

宮崎県：宮崎メニューフェア

実績：東京藝大食「藝大食楽部」4月1日オープン

2021年4月から東京藝大（東京都台東区）学生課の委託により、学食運営を担う。学食は「藝大食楽部」としてリニューアルオープンをする。食堂運営を通じて、藝大生参加型の地域連携の活動を推進し、未来の日本を担う学生に地域を身近に感じる機会を提供していく。また幅広い層に対し貨客混載物流の認知と理解の拡大につなげていく。（4店舗目の飲食店として運営していく）



メニュー案

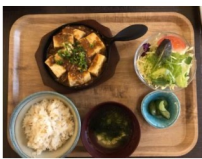
日替わり 『旬』を感じられる全国各地の食材を使った日替わりのおかず。お米や調味料にもこだわったメニューを提供。



四万十栗豚の生姜焼き



四万十栗豚のカツレツ定食



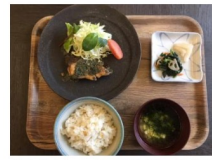
四万十栗豚の麻婆豆腐定食



四万十鶏のから揚げ定食



高知わら焼きカツオと釜揚げしらす定食



荒木さんちのブリ香草バター焼き定食

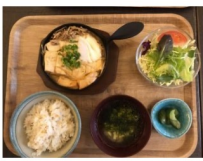


四万十鶏のトマトクリーム煮定食



こだわり総菜各種

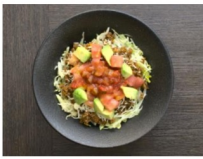
レギュラー タコライスやカレー、大浦食堂で人気だったバター豆腐のメニューをベースに展開。ヴィーガン対応のベジタブルカレーなども用意。



バター豆腐スペシャル定食



高知釜揚げしらすごはん



尾道しましタコライス



四万十栗豚のルーロー飯

テイクアウト



高知わら焼きカツオのスーパーフードサラダ



高知県産四万十鶏のバスタサラダ

藝大食楽部のメニューの考え方

- 1.日替わりで毎日楽しめる健康的な食事を提供。（雑穀麦ごはん+発酵食品+野菜120g以上+タンパク質60g以上）
- 2.日本全国の拘りの食材を出来るだけ使用し、食文化の発信に取組みます。
- 3.食を通して社会課題に取り組めます。（規格外の野菜をなどのフードロス問題や、ジビエの獣害問題など）

実績：4 店舗にて地域や食材をPR

都内 4 店舗にて地域食材を使用したメニューを提供。地方自治体やJAとのタイアップによる地域産品のPRや、B ToB向けの商談会も定期的に行っています。



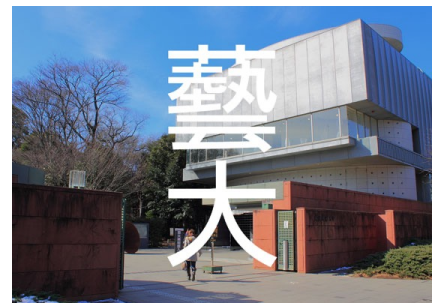
バスあいのりキッチン
渋谷スポーツセンター店



バスあいのりキッチン
大手町店



バスあいのり
3丁目TERRACE



藝大食楽部



実績：バスあいのり協議会準備会を2回開催

バスあいのりのエコシステムを実現するために、バリューチェーンを取り巻くステークホルダーが参画する組織を立ち上げ。産地・流通・消費地それぞれの課題解決に向けた提言を行う

バスあいのり協議会



- 事務局：バスあいのり便実施主体の5社
- ハブ会員：バスあいのり全体を主体的に拡大していく役割を担う（西日本鉄道ほか、大阪、名古屋、仙台など）
- バリューチェーン会員：バスあいのりを構成する対象
 - ：産地会員（生産者・JA・地域商社・地域行政）
 - ：流通会員（バス会社・運送会社・鉄道会社）
 - ：都市会員（飲食店・小売企業・行政）

【活動内容】バリューチェーンを太く・長く・拡大し、バスあいのりエコシステムを回していく

- (1) バリューチェーンの拡大 新たな路線・産地・製品のバリエーションを拡大
- (2) 地方創生2.0の実践 下り便を活用した産地x産地の接続、流通網の構築
- (3) 展開エリアの拡大 ハブ会員を中心に主要都市：大阪、福岡、名古屋などへの展開
- (4) 事業領域の拡大 産地・消費地や行政のマーケティング・プロモーションの活性化
- (5) 政策提言、取組支援 行政提案などの取組支援や、バリューチェーンのコンサルティング



実績：大丸有SDGs ACT 5

大丸有 SDGs ACT5



農林中央金庫と三菱地所は
花き生産者を応援しています。

各イベントの得意先により、花が得意な場所を失っています。
商業施設にご協力をお願い致します。

山形県鮭川村産
熊谷園芸のバラ
1本プレゼント!

配布期間 7.27①・8.2② 11:00-19:00
8.17③・8.21④ 11:00-19:00
配布枚数 1日あたり約840本
お1人様1本まで。配布完了までとなります。

お贈りするバラは、山形県鮭川村から高速バス「産地直送便」の便にのせて運んでいきます。

農林中央金庫 三菱地所

八ヶ岳 生とうもろこし 今朝どれバリューチェーン

実働

HAMARA FARM → 中央道原バス停 → バスタ新宿 → 大丸有 飲食店/マルシェ → 新宿タカシマヤ → 東京大丸 → イオン東雲店 → バスあいのり キッチン

ファーストワンマイル / ラストワンマイル

貨客混載

JRバス関東 産地直送便

コールドチェーン

予定時刻	出発 9:10	出発 10:01	到着 12:45	納品日 当日
作業	(横込) 1分程度			
バス 所要時間 (定刻)	2時間44分			

CHECK

期間中7330本
CO2排出量
0.35t削減
(軽トラで運んだ場合との比較)

旅客用高速バスの上下便を活用した循環型バリューチェーンの推進



旅客用高速バスの上下便を活用した循環型バリューチェーンの推進

9月1日(土) 13:51頃 ジェイアールバス関東によって、使用済みブラカップが運ばれ「中央道原」バス停にて受け取り

ハヶ岳中央農業実践大学校

ハヶ岳中央農業実践大学校(長野県諏訪郡)に持ち込み

今後コンポスト処理を行い肥料を製造

東北 6 県から、高速バスや新幹線の貨客混載によって地域の特産品を東京丸の内へ運び、FUKKOマルシェを開催し販売。福島県いわき市よりマグロや水産加工品を高速バスで運び飲食店60店舗へ提供した。これからの東北の地域産品の流通拡大に向けた新たなバリューチェーンの実証を行った。



日程：3月8日（月）～14日（日）
場所：東京駅スクエアゼロ



18社93商品の取扱い



①新青森ー東京 1便
②仙台ー東京 7便



物流サービスを兼ね備えた、食品流通のマーケティング会社
物流～販売～消費の過程において活動し、地域産品の流通拡大を実現していく

成長戦略の推進＝「コア事業連携による相乗効果の発揮」

